

I. 浸水地域に新たな生態系

New Ecology at Ground Zero

内陸から流れてくる 3 つの河川の河口に沿って形成される汽水域、河口と志津川湾の接点となる地域、つまり、グラウンド・ゼロの沿岸部を再検証し、そこに適正な規模の湾と干潟を提案する。海と陸が有機的な相互関連をもつ志津川湾において、新たな生態系によった産業としてのアクアカルチャー、引いては、経済基盤をともなう地域社会の可能性を検証する。



II. 未来地盤を築く

Scaling New Ground
Route RIAS
Smart Mobility System



未来地盤
> 海拔20m



Drawing by MIT Japan 3.11 Initiative

何をすれば良いのか？

今後、極端な人口減少、高齢化が進行する南三陸町では、移動システムのヒエラルキーが変容すると仮定し、小規模な集落の動線を有機的に繋ぎ、スマートカーを利用した環境と共生する持続可能なエコ・ライフ、地方のスケールにあった暮らしを提案する。東北三陸海岸は、数万年から数千年をかけて地形の基礎がつけられ、現在のリアス式の海岸線が形成さ

れた。その恩恵によって歴史と風土を備えた自然と共生する暮らしが支えられてきた。北上台地の山から海岸へ降りる地形の中腹地帯に、移動システムを中心とした新しい生活の地盤 (= 未来地盤) を再建する。この移動システムでは、これまで沿岸部を貫通していた国道が、山側の内陸へ移り、そこから沿岸部へ直交するフィーダー道路を設置し、海沿いに

点するまちへアクセスさせる。これは、津波対策であると同時に、三陸の美しい景観を守る。未来地盤は、地域の水平軸としてスマートカーの通り道、みんなが歩ける散歩道となる。海と高台を結ぶ動線であると同時に、センチエロ構想として、エコツーリズムの資源となる。

III. 2050年 人口一万弱のまち Year 2050 POP<10k Community



電気自動車にのったまま
道案内をするおじいちゃん

パナレア島 (Panarea, Sicily, Italy)

イタリア、シチリア島北東部、エオリア諸島最小の島。直径2km以下の島には、観光と漁業を経済基盤とする人口 243 人の暮らしがある。諸島内では、中小規模水上インフラによる諸島間移動、エコカーでの近距離移動という、テクノロジーの手近利用によって独特な自然環境と共存する。保持される環境の価値は高く、年々、訪問者、短期滞在者は増加。この小規模だからこそもたらされる暮らしの平穏さが、都会のビジネスマン、セレブ、第二の人生のための場となっている。

チンクエテッレ(Cinque Terre, Italy)



ポートアイザック(Port Isaac, UK)



緑豊かなキャンパスライフ

バーハーバー (Bar Harbor, Maine, US)

アメリカ東海岸北部メイン州にある人口 5,235 人の小さな漁村。200 年程前に発生したまちは、近代化の中で豊かな自然環境を活かしたエコツーリズムの場となったものの、通年の安定した経済基盤や、社会基盤を支えるために、1969年、人間環境学 (Human & Environmental Ecology) を主要課題とするアトランティック大学を設立。現在、大学は、国際的な補助基盤を備え、学生364人に対し、教師陣 42 人で構成されている。

現在、日本列島の人口は、過去最大の一億三千万人に達しようとしている。昭和初期にいた人口の2倍を越えた。2050年に向かい、日本、とりわけ東北のまちにおける人口減少及び高齢化の進行によって、日本の人口は、およそ 20% 減少し、一億人を下回り、地方では人がいなくなるまちが増えると予測される。これは、これから先の 40 年で、毎年静岡市規模の

まちがひとつずつ消えていくペースである。そうした背景の中、私たちは、日本の市町村のおよそ 3 分の 1 を占める、人口一万人以下のまちの未来像を模索するべく、世界の事例を紹介する。上に取りあげた人口一万人弱のまちは、環境を母体とする全体の中に、有機的に構成され、相互が統一性と関連性をもって機能している。市町村合併して生きなが

らえるのではなく、個々が独自性を保持しながら、まちは近隣と共存している。より大きな規模の周辺とゆるやかに連携し、相互補完関係をつくっている。これら人口一万人弱のまちは、引いては、世界規模の広がりの中で注目されていくであろうローカル・グローバル (Local Global) の実践となる。

III. みんなの舞台 dei Popoli



Temple
寺社



Market
市場



Loggia
回廊

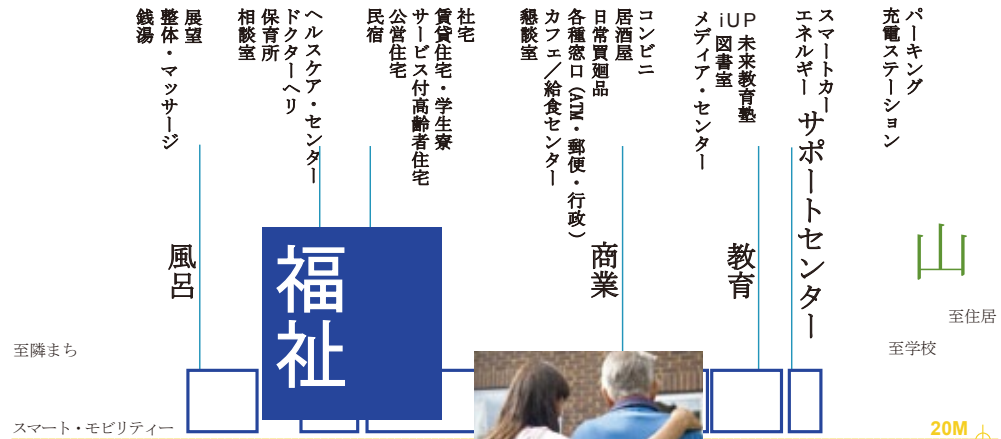


Street
道



all a
STAGE

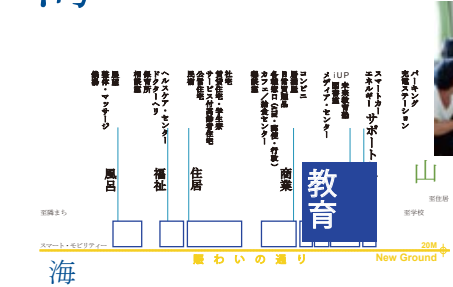
みんなの舞台は、海拔 20メートル = 未来地盤に位置する。海を見下ろすことができるその高さや近距離性は、津波に対する安全性と、暮らしにおける安心感を伴う。また、今後津波が発生した際には、高台へ人々を導く避難ルートを示す機能をもつ。



海

賑わ

20M
New Ground



海

賑わいの通り

20M
New Ground



15.9m
記憶の水盤モニュメント

00m
グラウンド・ゼロ

20m
未来地盤



未来地盤

みんなの舞台

2050年を迎える
新たな
まちの核

志津川湾

BEYOND 3.11

「バーバドール 5丁目」プロジェクト

Baabadoru 5-chome Project

ポポロ・プロジェクト Popolo PROJECTs 2011-2012 BUILT

そこに暮らす住民1人ひとりが参加し、コミュニティーが復興することに焦点をあてた第三の場の支援である。震災後の異常な状況において、被災者は、その暮らしにどのように社会性をもてるのかという課題がある。その取り組みとして、私たちが実践的に関わった2つの「小さなみんなの舞台」プロジェクトを紹介する。これらは、住民の方々からのお声がけによって始まり、彼等自身が望む場所に、彼等の使い勝手に応じた、集いの場づくりのお手伝いである。



道=みんなの舞台

Street > Public Stage
Street > Community
Street = Convergence

日常 人と 出会う みんなの 交流の場

みんなの舞台 dei Popoli



仮設住宅に移動してからご近所になったという数人の中年女性が、ベンチに腰掛けては世間話に花をさかせ、時には現状に憤怒落胆している光景を目にすると、そうした状況こそが多様な世代が集うコミュニティーの核となっているのではないかと思います。歌津地区「平成の森」仮設住宅団地に無機質に居並ぶ仮設住宅棟間の通りの一つ、「バーバドール5丁目」はその好例である。冬の気

配が近づく時候、何気なく置かれたベンチに地元の中年女性達が集っている際、知人の招きを受けて、私たちはその「おじゃっこ（お茶のみ）」に参加させて頂いた。彼女達は仮設暮らしの日常に彩りを与えてくれるこの屋外での団欒の時を、これから迎える冬にも続けたいのだと熱く語る。そうして、風雨や雪を防いで、暖かく座り続けられるような集いの場づくりのお手伝いが始まった。そのお声が

けから2週間で設計、調整、資材集めを行った後、地元住民とDream teamの集結により3日間で落成された。

敷地：南三陸町歌津地区「平成の森」仮設住宅団地
建設時期：2011年秋期
協力：MIT, MIT Center for International Studies, Atsuko Fish Joanne Fallon, 渡邊喜代美, バーバドール5丁目のみなさん
すばらしい歌津をつくる協議会, 宮城大学
Dream team_01 & 02, その他団体, 個人

「ガーデンパビリオーネ」プロジェクト

Garden Pavilione Project



いちろうさん

くらさん

震災から半年後の冬の寒い日、馬場中山集落の契約会長くらさん、いちろうさんが私たちを訪れた。「仮設暮らしのばあさん達のために」という彼等の思いを受け、さらに半年のお付き合いを経て、集いの場「パビリオーネ」は実現した。この時間をかけて共に築いたプロセスが、パビリオーネという舞台を通して、様々な人との繋がりを生んだ。建設にあたって集められた「津波瓦礫」には、生き残った人々の

明日へ向かう思いを紡ぎ合わせ、震災という悲劇や故人を悼み継承するという思いをも、込められている。落成日、建前を祝う南三陸陸伝統の「謡」の披露、おばあちゃん達は「震災以来、初めてだ」と言いながら「海の唄」や踊りを楽しんだ。無名だったこの場所は、今日、「パビリオーネ」という愛称をもって、みんなの場所、みんなの舞台となっている。「Beyond 3.11」展は、パビリオーネの経験を元に

した、被災者の現状を伝える試みである。このお付き合いは、「大沼ナチュラ」という新たな課題を通して、現在も深められている。

敷地：南三陸町歌津地区馬場中山仮設住宅隣私有地
建設時期：2012年ゴールデンウィーク
協力：MIT, MIT Japan program, 馬場中山のみなさん
すばらしい歌津をつくる協議会, 宮城大学, Dream team_03
その他団体, 個人



のぼり
千葉喜久雄さんの山から



縄のれん
地元の漁で使用している縄

瓦
及川多美子さん他、地元の方々より

1.5トンの庭石
故人・及川ひでおさんより

玉石
わかめ養殖道具

パビリオーネ
山口勝男さんから知恵をお借りし無事、建てることできた



しゃくなげ
及川豊太郎さんから

ツツジ、椿、さつき
三浦一郎さん所有の丘から

BEYOND 3.11